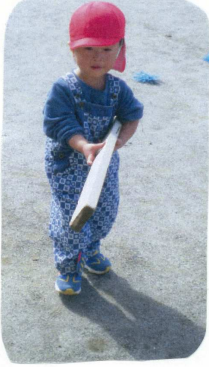




# 五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

11月

木 土



▲ なか〜い木片を運んで並べてみる。  
(おいままにしていると、お見アウスの男の子が、  
スワターで、き車のように通る。)

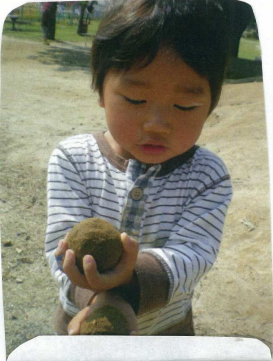


「お魚釣りかたいだねー」  
と声をかけらる。

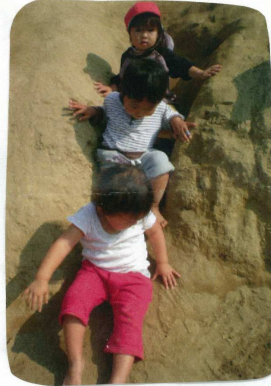
▲ 2お見アウスの友達か、あそんで  
▼ いろのを見てウズウズして  
いたようで、いなくなると、  
長い木枝をみつけあそび  
始める



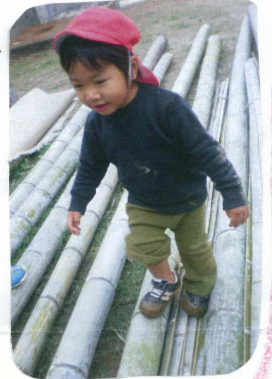
▼ 土団子もらたよー



▲ 土山にできた、みぞをすべり台のよう  
にしてすべり降りていく。  
「キャー」「ワー」と笑い合っ  
ながらよくあそんでいる



▶ 竹が並べている所を歩く  
ハウンスをとっている。



## 海あそび



▲ 波打ち際に立ち波を眺める。  
「サファーンっていうねー」「大きいね」  
と声をかける。真剣  
に見ている。  
波の音を聞く。



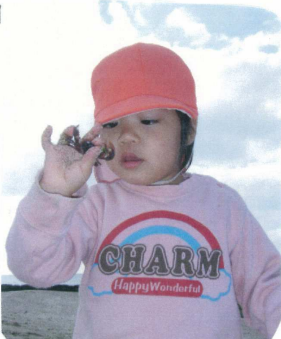
▲ 砂を触ってみる。  
波が押し寄せてくるのも気になる。



▲ 「見て、手手か、ないよー」  
手を砂浜に入れかす。  
砂の中の冷たさを感じる。又、砂の  
上の温かさを感じる。

▶ カニを発見

「触ってみる？ ナヤン  
もついてるよ」と言うと  
「怖い」と言う子もいた  
が、「〇〇もー」と  
持て眺めている。



▲ 「あ、あ、あ、ちも」と貝がらや石を  
みつけ、牛乳パックに入れる。